



横浜陶芸友の会だより

第 189 号

令和 6 年

6 月 12 日 発行

「総会を終えて」

横浜陶芸友の会会長 鍋島 弘義

令和 6 年 5 月 25 日 (土) に杉田地区センターにおいて「総会」が行われました。出席者は 7 名と少し寂しかったのですが報告された議案は全て承認され、滞りなく終わることが出来ました。ありがとうございます。



議案としては、各部の活動報告・今年度の活動予定、会計の決算・予算、会則の一部改訂など有りますので詳細は、ゆっくりお読みください。

今年度は、「総会の在り方」を検討して少しでも役員の方の負担を軽減できれば良いなと、思っています。

そして、話し合いが早く終了した時に会場の写真機器を使用して、窯場見学会の下見や本番でお会いした先生方の 8mm ビデオを見たいと思います。先生方のお話や作陶がメインですので、あまり参加者の映像はありませんが、時々、若かりし頃の自分に出会えるかもしれません。

お時間のある時には、是非とも「役員会」に参加してみてください。

益子、唐津、小鹿田、常滑など有り、飛びカンナ、錬り込み、急須などその道のプロの技を見る事が出来ますので、お楽しみに。そして、とても悲しいお知らせが立て続けに飛び込んできました。

昨年の 12 月に専修部の副部長の田村和正様。続いて今年の 2 月には専修部で長年活動されていた下村武子様。更にこの会の副会長や会長で客員であった出淵億江子様、この 5 月 13 日に逝去されました。ただただ「エエ〜。ホント〜。」と、驚くばかりです。

「明日は我が身。」と、思いながら、この会の終活も念頭に置き、その日その日を大切にそして「一期一会」を楽しみながら過ごしましょう。

この会を支えてくださった方々のご冥福を、心よりお祈りしたいと思います。今年も異常気象になりそうです。昨年並みの猛暑・大雨なども予想されます。充分体調には気を付けてお過ごしください。

総務部 2023 年度 活動報告

| 総務部 | 広報 |
|---|--|
| 4 月 15 日 (土) 役員会 (総会に向けて) | |
| 5 月 13 日 (土) 総会 | |
| 5 月 30 日 (火) 「友の会だより」5 月号 (185 号) の発送 | 5 月 26 日 (185 号) 発行 ・総会の報告 ・決算・予算書 他 |
| 7 月 22 日 (土) 役員会 | |
| 8 月 3 日 (木) 「友の会だより」8 月号 (186 号) の発送 | 8 月 1 日 (186 号) 発行 ・秋期焼成会案内 ・関東学院 Fes 案内 他 |
| 10 月 21 日 (土) 役員会 | |
| 11 月 8 日 (水) 「友の会だより」11 月号 (187 号) の発送 「第 44 回作品展のご案内」の発送 | 11 月 6 日 (187 号) 発行 ・「焼成会」報告 ・作品展案内 他 |
| 2 月 3 日 (土) 役員会 | |
| 2 月 28 日 (水) 「友の会だより」3 月号 (188 号) の発送 | 2 月 19 日 (188 号) 発行 ・「作品展」報告 ・「43 回作品展」紹介 他 |

①

令和 5 年度 各部の活動報告
「総務部」より

《議事》

5 月 25 日 (土) 15 時より、杉田地区センター集会室 B において出席者 7 名により行われました。「議長」大日方毅 「記録」鈴木貴久

「令和 6 年度総会」《議事報告》

② 「事業部」より

事業部 令和5年度活動報告

(1) 関東学院大学「関キャンfes」
 ※詳細は「会報187号」に掲載しました
 (会期) 2023年10月28日(土)・29日(日)
 (会場) 関内キャンパス(2階ギャラリー)
 (出展者数) 有志10名
 ※初めての試みで参加しました
 (作品数) 76点
 (会場下見・打合せ) 7月10日
 ※関東学院や友の会会員との打ち合わせは、ほとんどメールで行いました

(2) 第44回「作品展」
 ※詳細は「会報188号」に掲載しました
 (会期) 2024年1月9日(火)～14日(日)
 (会場) かなつくホール3階ギャラリーA
 (出展者数) 12名
 (名簿記入者数) 90名
 (作品数) 162点
 (課題) 「どんぶり」12点

※役員会前の資料作りの事業部部会は、ほとんどメールで行いました
 ○対面での会議は、
 ・「なか区民活動センター」で2回(9月, 1月)
 ○「作品展」関係では、
 ・「かなつくホール」打ち合わせ(12月)
 ・「作品展準備」貝森事務所(1月)

③ 「専修部」より

専修部 令和5年度活動報告

※5月26日「友の会だより」用原稿を広報部
 ※9月実施「秋期焼成会のご案内」を送信
 ※8月1日「友の会だより」用原稿を広報部へ
 「秋期焼成会のご案内」を送信
 ※「秋期焼成会」(会場) 井上宅

(日程)

| | |
|-----------------------------|----------------------|
| 9/3 (日) 10:00～受付、素焼き済の方は釉掛け | 10日 (日) 10:00～釉掛け |
| 5日 (火) 10:00～素焼き | 25日 (月) 16:00～第2回本焼き |
| 13日 (水) 16:00～第1回本焼き | 8日 (日) 10:00～引渡し |
| 10/2 (日) 16:00～第3回本焼き | |

(結果 参加者数ほか)

| | 参加者数 | 作品点数 | 作品重量 |
|------|------|------|----------|
| 令和4年 | 9名 | 34点 | 12.17kg |
| 令和5年 | 10名 | 53点 | 18.419kg |

(部会)
 R5年5月13日総会前に部会 (議題)「今年度の焼成会について」
 R6年2月3日役員会前に部会 (議題)「来年度の焼成会について」

2024年度 総務・広報 活動予定

| 総務部 | 広報 |
|--|-------------------|
| 4月6日(土) 役員会 (総会に向けて) | |
| 5月25日(土) 総会 | |
| 6月中旬 ・「友の会だより」6月号の発送 | 6月中旬(189号)発行 |
| 7月27日(土) 役員会 | |
| 8月下旬 ・「友の会だより」8月号の発送 | 8月下旬(190号)発行 |
| 10月下旬 役員会 | |
| 11月上旬 ・「友の会だより」11月号の発送 「第45回作品展のご案内」の発送 | 11月中旬(191号)発行 |
| 2月初旬 役員会 | |
| 3月初旬 ・「友の会だより」3月号の発送 | 2月下旬～3月初旬(192号)発行 |

【部員構成】(※は兼務)
 (部長) 高橋 光男 深川 貴子
 ※鍋島 弘義 ※鈴木 貴久 ※井上 明
 ※吉川 勝 ※鈴木 和子

令和6年度 各部の活動予定

① 「総務部」より
 令和6年度 総務部 活動予定

横 浜 陶 芸 友 の 会
2023 年度決算書・2024 年度予算書

(※郵送会報にのみ掲載)

② 「事業部」より

【部員構成】(※は兼務)
(部長) 吉川 勝 (会計) 大日方 毅
(作品展等) 吉川 勝 大日方 毅
※鍋島弘義 ※鈴木貴久
貝森俊二 清水あや子

令和6年度 事業部 活動予定

○令和6年度 第45回「作品展」

☆かなつくホール 3階ギャラリーA
・1月初旬(第一希望 1/7~12)
6日間実施の予定(※7月に申し込みます)
☆特設コーナー課題「角皿」※大きさは自由
☆専修部コーナー ※焼成会での作品を展示する
☆出展料 一区画(45cm) 2000円
☆懇親会 開催する予定

※ 詳細は会報の 11月号 発行時に同封

「作品展」関係 確認内容

- ・会場の設営 9時30分より行う
・一般の受付時間 11時から直接会場へ
・作品展の開場時間は 10時~17時
(搬出時は16時)まで
☆出展される方は 半日程度の当番を
お願いいたします

○関東学院大学「関キャンFes」での展示
※昨年度は10月に行われた
※声がかかれば、参加の方向で計画する

③ 「専修部」より

【部員構成】5名
(部長) 井上 明 (会計) 鈴木和子
(会場申込) 中村のりこ
(秋期焼成会) 本橋昭彦 逢坂博樹 他全員
(焼成会備品管理) 井上 明

令和6年度 専修部 活動予定

① 秋期焼成会

*場所 令和6年9月(井上宅)
*日程 9月29日(日) 受付予定
*釉掛け 10月初旬 予定
※基本的には酸化焼成ですが
(その他の希望にも 相談にのります)
*焼成料 1kg 千円 を予定しています

※ 詳細は会報の 8月号 に載せます

6年度<新釉薬>

- ①唐津ワラ白 ④青織部
②トルコマット ⑤飴釉 ⑥斑唐津
⑦黄瀬戸 ⑧黒天目
⑨朱赤 ⑩ルリマット
⑪オリジナルラスター釉
⑫青白交趾 ⑬織部
⑭木灰透明
⑮コパルトブルー

② 広報部へ

*令和6年8月発行の「友の会だより」へ
9月予定「秋期焼成会のお知らせ」を送信
*令和6年11月発行の「友の会だより」へ
9月実施済の「秋期焼成会 結果報告」を送信

友の会「会則」 一部改訂

「会計監査」については、令和5年度の
「総会決定」から、行事終了後の役員会で
「会計監査」を行っていただきます。
「友の会会則」との整合性を持たせるため
一部改訂いたしました。

〈改訂箇所〉

- ①第7章 第19条の 3 会計監査 2名の
個所は削除し、
「会計監査」については友の会の行事終了後
に役員会で「会計監査」を行う。を付記する。
②第8章 第24条 の会計監査は 削除する。
③第11章 附則 に 第37条 会計監査に
ついては、令和5年度より実施する。
と記入する。
以上、三カ所の改訂をいたします

令和6年度 組織および役員

Table with 2 columns: Position (顧問, 客員, 会長, 副会長, 総務部, 広報(HP)含む, 事業部, 専修部) and Name (寒河江 洋子, 高村 正明 松崎 紀一, 鍋島 弘義, 鈴木 貴久, 高橋 光男 深川 貴子, etc.)

(★ は部長 ※ は兼任)

計 報

専修部・副部長として活動された
田村和正様が 令和 5 年 12 月 27 日
ご逝去されました

専修部で長らく活動された
下村武子様が 令和 6 年 2 月 8 日
ご逝去されました

この会の副会長・会長として長らく
この会を支えてこられた
出淵信江子様が 令和 6 年 5 月 13 日
ご逝去されました。
ここに謹んで皆様のご冥福をお祈りすると
ともに お知らせ申し上げます



平成 12 年 益子窯場見学会
濱田晋作先生との記念撮影

平成 25 年「友の会作品展」
での記念撮影

「下村さんとの思い出」

鈴木和子

残念です。

昨年暮れにお電話でお話をした時には、な
かなか外に出られ無くなり自宅でゆっくり過
ごしている。との事でしたが専修部で一緒
し、何事に掛けても決して前だしはせず、ご

自分のする事、出来る事を間違い無くこな
して下さる。「小さな声で」
信頼出来る先輩でした。

専修部焼成会では、何年も熟して来られた
木の葉天目をご指導下さり、絵付けに付いて
は長い間通った師匠との話しなど、なかなか
思う様な色が出ないなど、何をすることも自
分が出来る範囲の練度と道具だてには、目
を見張る事が沢山ありました。

終活で頂いた下絵色絵付けの材料は何と
96 色、思いを込めた材料と思ひ、全色テスト
ピースを焼き蓋に貼り付け、聖坂養護の佐々
木先生に、生徒作品に託して下さいる様お願い
致しました。

とてもスマートで素敵な先輩
ありがとうございました。

「専修部のお二人」

井上明

下村さんとは此処暫く連絡が取れませんで
したがお元気だと思っていたので驚きました。
専修部で長年ご活躍でした。

田村さんは数年前から
体調を崩されていましたが
早すぎます。

焼成会等お世話になりました。
訃報が続きます残念です。
ご冥福をお祈りいたします。

「お二人との思い出」

逢坂博樹

下村様 田村様 と続いての訃報は本当に



在りし日の田村様

悲しいです。田村様とは沼津での窯だきでの
楽しいひと時が思い出されます。
お二人の手柄が偲べれます。
ご冥福をお祈りします。



第 41 回作品展
下村様の出展作品

「感謝」

鍋島弘義

私が出淵さんの訃報の連絡を娘さんから
いただいたのが 3 月 2 日。次の 3 日には田村さ
んの訃報の連絡。そして 5 月 15 日には出淵さ
んの葬儀が 21 日に行われるとの連絡。

今年に入り、この会を長年に渡り支えてく
れた方々が次々とお亡くなりになりました。

出淵様には、平成 20
年 8 月 嶋田会長の交通
事故による急逝のため
急遽会長代行をお願い
し、次の年度に会長を
引き受けていただきま
した。私も副会長とし
て一年間でしたが一緒
に会の運営に携わりま
した。

窯場見学会や会の
イベントにもよく参加



2011 年 常湯講習会「急須作り」

陶陶さん

第 111 号

あかほし



第 40 回作品展
出渕様の作品展

され誰にでも優しく接し、その場においてくださるだけで場が和む素晴らしい方でした。葬儀の時に、ご息がお話されていた「いつも人と人の輪(和)を作り、絆を作っている」と、まさにその通りの方でした。

下村様は平成4年から専修部に入られ亡くなられる今年まで30年以上活動されました。ほとんどの窯場見学会にも参加され、記念撮影の時には常に先生の横に並び最前列にいらっしやっただのが印象的でした。「作品展」にも必ず出展されていて晩年は「作陶できなくなったけれど、作った物ならたくさんあるから。」と、おっしゃられ

「特設コーナー」に出展されていました。「第44回作品展」の課題についての問い合わせもハガキで来ていました。

田村様は、平成30年に専修部の副部長になられ「焼成会の報告」などの原稿を広報に送っていたっていました。

また「総会」の時には快く議長を引き受けてくださいました。

まだまだ、これから活躍してくださいと思っていた矢先の連絡でした。

陶芸を愛し、この会を支えてくれた皆様から感謝をしたいと思います。本当に、ありがとうございました。

【次回の「役員会」予定】
7月27日(土) 15時から
(場所) 杉田地区センターです
※参加よろしく願いいたします

【編集後記】

・そばにいてくれるだけで心強かった出渕様、下村様、田村様と立て続けての訃報には正直ビックリし、もうお話もできないのかと思うと寂しさがこみ上げてきます。

田村様のお歳は分かりませんが、出渕様、下村様はすでに90歳を超えていますので、大往生と言えるかもしれません。私の中ではまだ元氣なお姿しかなく作品展にはヒョッコリ顔を出してくれそうな気がしています。

これからの日々「一期一会」の出会いを大切に、楽しみながら先輩たちのように元気に90歳を超えていければうれしいのですが・・・ガンバロウ。

・「総会」が終わり、今年度の活動予定が出ました。まずは「焼成会」に向かって作品を作りましょう。

参加してみてください。楽しみがわかりますよ。

鍋島弘義

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより
第 189 号
(令和 6 年 6 月 12 日発行)
(発行人) 横浜陶芸友の会
会長 鍋島 弘義